

## 夕張市水道事業経営戦略の改定について

### (改定の趣旨)

経営戦略とは、平成26年8月に総務省からの通知に基づき、自らの経営等に的確な現状把握を行ったうえで、将来にわたって安定的に事業を継続できるよう中長期的な経営の基本計画を策定するもので、本市においては平成30年3月に「夕張市水道事業経営戦略」を策定しました。

令和4年1月の総務省通知では、更なる経営健全化の取り組みを進め、より質の高い計画とするよう令和7年度末までに経営戦略の改定を全ての公営企業に要請しており、それを踏まえ本経営戦略を改定するものです。

### (経営戦略の概要)

本市水道事業は、人口減少に伴う料金収入の減少や、施設等の老朽化に伴う更新費用の増大など、厳しい経営環境にあります。このたび、前計画の進捗状況を検証するとともに、最新の社会情勢や将来予測を反映させ、将来にわたって安全で安心な水を安定的に供給し続けるための指針として、本戦略の改定を行います。

これまで、「夕張市上水道第8期拡張事業計画」（計画期間：平成24年度～令和13年度まで）を策定し、使用料の改定及び経費の節減に努めるとともに、新たにPFI事業を導入し浄水場等の更新と維持管理業務の一括委託を行ってきました。

しかし、今後施設の老朽化に伴う建設改良費の増加が予測される状況に対応し、水道施設や管路の計画的な更新を進め、施設や管路の健全性を維持していくためには、組織や事務事業の効率化、施設管理の見直し等経営基盤強化のための取り組みを一層推進することが必要です。

このため、現状と将来見通しを踏まえ、現行の経営戦略を見直した上で中長期的な経営の基本計画として策定したものです。

### (計画期間) 令和8年度から令和17年度まで（10年間）

経営戦略の実施状況については、計画（Plan）・実施（Do）・検証（Check）・見直し（Action）の、いわゆるPDCAサイクルにより評価・検証を行いながら、随時見直しを行います。また、経営戦略と乖離が著しい場合、経営戦略の前提となる経営、財政の条件が大幅に変更になった場合にも見直しを行います。

### (経営の基本方針)

「安全で安心な水道水を安定的に供給する。」